



MON Nara 通信



Numéro 8

Association Franco-Japonaise de Nara 奈良日仏協会

DÉCEMBRE 2020 12月

これからの催しご案内

第147回フランス・アラカルト「バティスト・レタヨさんをお迎えして—ヴァンデ地方の魅力を語る」

ヴァンデ地方のご出身で、柔道に親しんだことがきっかけで、18歳より日本語を勉強。11年前に来日、現在奈良にお住いのバティスト・レタヨ (Baptiste RETAILLEAU) さんから、知られざるヴァンデ地方の魅力をたっぷりとお聞きます。

★日時：3月13日(土) 14:30～16:30 ★場所：生駒セイセイビル2階 203・204会議室

★参加費：会員500円、一般1000円 ★定員：20名 満席になり次第締め切り。

★問い合わせと申込先：sugitani@kcn.jp TEL 090-6322-0672(杉谷)

★バティストさんからのメッセージ：

Bonjour à toutes et tous ! Le 13 mars prochain je vous invite à découvrir une contrée de France très méconnue des Japonais (et même des Français) : la Vendée. Département agricole et dynamique du Nord-Ouest de la France, je vous propose une petite balade dans l'espace et dans le temps à la découverte de son histoire singulière (contre-révolutionnaire !), de son terroir et spécialités (le préfou, la trouspinette, la bonnotte, le kamok, ...), de ses paysages (le littoral et le bocage vendéens) et ses lieux touristiques les plus connus (le Puy-du-Fou, le Puits d'Enfer, le passage du Gois).



みなさん、こんにちは！ 来年3月13日、日本では(フランスでさえも)ほとんど知られていないフランスの一地方ヴァンデのことを紹介したいと思います。ヴァンデはフランス北西部の農業がさかんで活動的な県ですが、その特別な歴史(反革命！)、土地の名産物(プレフ、トルスピネット、ボノット、カモック、...)、風景(沿岸地方、ヴァンデのボカージュ)、そして有名な観光地(ピュイ・デュ・フー、ピュイ・ダンフェール、グア通路)について知るべく、時空を超えてのそぞろ歩きに、一緒に出かけてみませんか。

第56回奈良日仏協会シネクラブ例会『めぐり逢う朝』

❖日時：2021年2月28日(日) 13:30～17:00 ❖会場：生駒市セイセイビル2階 206会議室

❖プログラム：『めぐり逢う朝』(Tous les matins du monde, 1991年, 115分)

❖監督：アラン・コルノー (Alain Corneau) ❖参加費：会員100円、一般300円 ❖懇親会：中止

❖問い合わせ：Nasai206@gmail.com tel. 090-8538-2300 (浅井)

❖17世紀フランスのバロック時代の音楽家サント＝コロンブ(作曲家、ヴィオール演奏者)の人生と、彼に師事して名をなしたマラン・マレとの師弟関係を描いた作品。サント＝コロンブは著名な音楽家として名声を博した実在の人物だが、その生涯はほとんど知られていない。物語は彼の音楽を愛する小説家パスカル・キニャールが創造したフィクション。



音楽・映像・衣裳・演技・台詞・語りが見事に照応した、アラン・コルノー監督の傑作。音楽と絵画、芸術創造と実人生、演奏家の愛と魂、人間の生の儂さ、愛の残酷さと美しさ、世界の神秘…。監督は神秘的な部分を描くのに、谷崎潤一郎の随筆「陰翳礼讃」、溝口健二の映画『雨月物語』と『新平家物語』を参考にしたという。マレの役は、青年期は息子ギョーム・ドパルデュー、成人後は父ジェラルド・ドパルデューの親子が演じている。映画を通じて私たちは、サント＝コロンブが弟子を通じて後世に残したヴィオールの音色に触れ、目に見えないものの存在に思いをはせることができる。音楽家は芸術のために身を投じるのか、人々に聴いてもらうために作品を作るのか、との問いかけもなされている。

2021 年度 総会の開催（予告）

奈良日仏協会の 2021 年度総会を下記のとおり開催する予定です。残念ながら、コロナの状況を考慮して、懇親会は中止とすることが決まりました。1 月下旬に改めてご案内しますので、ご予約の程よろしくお願いたします。

♣日時:2020 年 2 月 11 日(木・祝)15:00～ ♣会場:野菜ダイニング「菜宴」(奈良市小西町 19 マリアテラスビル 2F)

活動記録 (詳細は次号 Mon Nara にて報告。)

☆10 月 10 日(土):ガイドクラブ「聖林寺と談山神社」

☆10 月 25 日(日):第 55 回奈良日仏協会シネクラブ例会「特集:エリック・ロメール②『冬物語』」

☆11 月 23 日(祝・月):秋の教養講座「カミュ『ペスト』を読む」、講師:三野博司

☆12 月 12 日(土):第 3 回美術クラブ例会「美術の力～逆境の中から誕生した傑作選」、講師:南城守

《2020 年度第 5 回理事会報告》…事務局

☆日時:2020 年 11 月 19 日(木)15:00～16:30。 ☆場所:野菜ダイニング「菜宴」。

☆出席者:三野、浅井、藤村、中辻、高松、喜多、菌田、三木、杉谷。

☆議題 1. 2020 年度会費納入額・会員数。 2. 前回理事会(9/17)後の活動:ガイドクラブ(10/10)、第 55 回日仏シネクラブ例会(10/25)。 3. 今後の行事:秋の教養講座(11/23)、第 3 回美術クラブ例会(12/12)、2021 年度総会(2/11)、第 56 回日仏シネクラブ例会(2/28)、第 147 回フランス・アラカルト。 4. Mon Nara、Mon Nara 通信。 5. その他:2021 年度の取り組みについて。 6. 次回理事会 2021 年 1 月 21 日(木)15:00～16:30 「菜宴」にて。

後記 ☆来年のシネクラブで『めぐり逢う朝』の上映が決まりましたので、本棚に眠っていたパスカル・キニャールの原作を読んでみました。アラン・コロン監督から熱心な依頼を受けて映画のために書き下ろした作品だそうです。人間のあらゆる声音をまねるまでヴィオールを極めたが、宮廷からの誘いを断り、桑の木の小屋でひたすら研鑽する師サント＝コロンブと、後に宮廷音楽家となって大成する弟子マラン・マレの相克を描いた芸術家小説で、サント＝コロンブの妻の亡霊が登場して会話が繰り返されたり、ボージャンという同時代画家の静謐な絵とのコラボレーションもあります。いわゆる普通の小説とは違い、史実と空想の異次元の要素が入り混じった 27 の短章からなる寓話的な物語。「風であることに苦しみがないとでもお思いになって? ただ、この風はときおりあの世に音楽のかけらを運びます。ときには光があなたの目にわたくしたちの現世(うつしよ)の姿を運ぶこともあるのです」(p104)という亡霊のセリフに見られるようにいささか哲学的な難解な小説です。またマレと言えば、一昨年秋、興福寺で行った、当協会会員の坂本利文さんファミリーによるフランス古楽の演奏会のルイ 14 世時代の典雅な響きを思い出しますが、さて、その音楽に乗せて、この不思議な小説がどんな映像になっているか、今から楽しみです。☆今年は、公私ともに、ずっとコロナに振り回されたという感じになりました。奈良日仏協会の活動においては、美術クラブ例会が二度にわたって延期となり、秋の教養講座も来年の総会も懇親会は中止となってしまいました。来年は、ワクチンもできて少しは正常な活動が行えるように祈っています。(杉)

◆当協会では**会員を募集**しております。お申込み、お問合せは下記事務局まで。

◆Mon Nara 誌への投稿、とくに新鮮で多様な話題、直近のフランス情報などを歓迎します。誌面の都合でご相談のうえ表現を変えさせていただくことがあります。Mon Nara 2 月号は 1 月 31 日が原稿締切日です。

◆会員のみなさまで「Mon Nara」(2 月、6 月、10 月発行)、または「Mon Nara 通信」(4 月、8 月、12 月発行)に**チラシ同封を希望される方は**、1) 内容がフランスに関わるもの、2) 本人または代理人が発送作業に参加、の二つの条件を満たせば同封可能ですので、下記事務局までお問い合わせください。

Mon Nara 通信 2020 年 12 月 numéro 8

奈良日仏協会 Association Franco-Japonaise de Nara

HP : <http://www.afjn.jp> E-mail : nara.afj@gmail.com FAX : 0742-62-1741

〒630-8226 奈良市小西町 19 マリアテラスビル 2F 野菜ダイニング菜宴[郵便物のみ] 発行責任者:三野博司